



茶内小だより

○思いやりのある子 ○自ら鍛える子 ○進んで学ぶ子

茶内地区サポーター募集

9月は、家庭科の学習でご協力いただきました。皆さんの得意をいかして、学校の力になってくれませんか。登録希望の方は、65-2252 教頭までご連絡ください。

10月の行事予定

日	曜	学校行事・PTA行事など
1	日	
2	月	授業公開週間(～6日)
3	火	
4	水	朝の読み聞かせ 校内研修
5	木	縦割り班清掃
6	金	湿原学習(5年) 就学時検診 4時間授業(1～3年)
7	土	
8	日	
9	月	祝日 スポーツの日
10	火	教育委員学校訪問 視力再検査(1・2年) Q-Uテスト
11	水	朝の読み聞かせ 視力再検査(3・4年)
12	木	みんなの広場 視力再検査(5・6年)
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	茶コレプログラム配付
17	火	
18	水	朝の読み聞かせ
19	木	茶コレ児童公開 縦割り班清掃
20	金	
21	土	茶内アートコレクション2023
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	朝の読み聞かせ
26	木	湿原学習(4年)
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	消防署見学(3年)

「茶内アートコレクション2023」お待ちしております

校長 佐久間 勝教

2学期が始まり1か月が経ちました。秋晴れの空、雲も高くなり、季節は秋となりました。子ども達も過ごしやすい中、勉強に励んでいます。そう、今まさに、勉強の秋です。

そんな中、学校では、10月21日(土)に行われる「茶内アートコレクション2023」に向けて、取り組みが始まっています。今年度は、リズムダンス、パーカッション、教科書教材の群読、寸劇を用いた歌や鍵盤、歌や鍵盤での音読劇、縄跳び、手遊びなどと、普段の授業で活用している鍵盤ハーモニカやリコーダー、ダンスなど多岐に富んだ発表内容となります。

この発表に向け、昨年と同じく、子ども達の発達段階に応じ、子どもと担任が話し合いどのようなメッセージを発信していくのか決めます。これにより、子どもの活躍の場を多くし、「子ども主導型」で進めていけるようにしています。同時に、1学期間、子ども達には「成すことによって学ぶ」ことの大切さを伝えてきました。その実践の場として「茶コレ」を位置づけています。子ども達一人ひとりのアイデアを束ね、学級のみんなが協働し、一つの作品を作り上げていく。このプロセスを子ども達が経験することで、将来、自分で考え行動する力の育成に繋がります。

コロナ禍もひと段落した現在、感染症対策を施しながら入場制限を設けずに実施いたします。保護者、そして地域の方々も、ぜひ学校へお越しいただき、子ども達の頑張る様子をご覧になり、称賛の拍手を送っていただきますよう、お願い申し上げます。たくさんの方の観覧をお待ちしております。

話題は変わりますが、4月に行われた全国学力・学習状況調査の結果の概略が裏面に掲載されています。国語では、漢字を正しく使うことや文章の要約に関する項目がよくできています。反面、文章を読んで理解したことや話の内容を捉えて考えを比較したことについて、自分の考えをまとめて書くことに課題が見られます。また、算数では数量関係やグラフの読み取りに関する項目はよくできています。しかし、図形を成す要素の特徴を理解することやある事柄を式や言葉で表すことに課題が見られます。

これらのことから、子ども達は、事象について理解を深め、自分の中で咀嚼し、新たな考えを作る力に課題が見られます。この課題の解決のためには「アウトプット」する活動を大切にしていくことが必要不可欠です。前号でもお伝えしたように、学校として、各教科で語彙力を増やすこと、多様な解決方法を知ること、自分なりの方法で解決し考えをまとめること、そのために、自分の考えを発表する場を設けることに取り組んでいきます。これにより「子ども」が主語となる授業づくりをめざします。

さて、子ども達は日々成長しています。子ども達と同じく、授業公開などの実践をし、互いに意見を述べ合うことで、教員一人一人も日々の成長に繋がっています。これらをさらに良いものにしていくためにも、校長として、教員一人一人をサポートし、子ども達の成長に繋がってきたいと思います。

図書委員会の活動から

朝の時間に、低学年教室で図書委員会の読み聞かせ活動が行われました。本の選定や練習を委員会内の小グループで計画的に行うことができました。その成果として、読み聞かせ当日は、低学年も真剣な表情で聞いていたり、笑顔がたくさん見られたりと大成功の活動でした。



保健委員会の活動から

みんなの広場の時間に、これからの季節を考えて、手洗いについての発表を行いました。まず前半は、手洗いの必要性について〇×クイズで全校児童に理解してもらいました。後半は、保健委員会が、出演・制作した正しい手洗いの動画を視聴しました。低学年にもわかりやすく伝わりました。



学力学習調査から

4月に行われた全国学力学習調査の本校の結果についてお知らせいたします。よくできている問題は◎、つまずきの多い問題は▼となっております。

《国語》

- ◎文章の種類とその特徴について理解している。
- ◎送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができる。
- ◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。
- ▼文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。
- ▼目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。

《算数》

- ◎伴って変わる二つに数量の関係が、比例の関係でないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができる。
- ◎「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができる。
- ◎示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できる。
- ▼正三角形の意味や性質について理解している。
- ▼比例の関係を用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる。

この結果を受け、「学習のねらい」「何をするのか」を明確にして、子どもたちが主体となって学んでいけるよう、授業改善に努めていきます。

出前授業

3年生では、手紙の書き方を郵便局の出前講座を活用して行いました。講師の方と担任の事前の打ち合わせにより、敬老の日に向けた手紙を書くことにしました。児童は、相手を意識して内容を考えたり、表現を工夫したりと一生懸命に書き上げていました。



厚岸情報館探検

2年生は、茶内駅から公共の交通機関を利用して本の森情報館の見学に行ってきました。汽車の乗り方や乗車時のマナーを実践できました。また、本の森情報館では、普段見ることが出来ない裏側を見学したり、児童の質問に答えてもらったりと、たくさんのおもしろいことを知ることができました。



宿泊研修

厚岸方面に5・6年生で宿泊研修に行ってきました。厚岸の海事記念館・プラネタリウムや牡蠣種苗センターを見学し、ネイパル厚岸で体験活動と1泊の行程でした。ネイパル厚岸では、チームごとに協力して謎を解き明かしながらゴールを目指しました。牡蠣種苗センターでは、稚貝の成長過程や、漁業者との協力体制を学ぶことができました。学年やグループで協力しながら生活や活動を進めることができました。



茶内アートコレクション2023について

今年度は、10月21日（土）に全学年が日々の教育活動の成果を発表します。コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、現時点では町外の方でも見学可能で、人数制限も設けない予定です。多くの方に来校いただければと思います。

授業交流週間

全教職員が授業公開し、互いに参観し合う取り組みがスタートしました。まずは、6年生と1年生の授業を参観し、教師の発問や児童の活動についてなど意見交流を行い、授業を行った教員・参観した教員共に、日々の授業に良い点を活かす取組となっています。互いに向上し合える取組としていきます。

